

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和六年九月十三日発行（毎月一回十三日発行）
定価 五〇〇円

第996号

龍

跳

第八十卷

10

月号

高知
龍跳書道会

田中幽峰書

衆鳥高飛盡
孤雲獨去閒
相看兩不厭
只有敬亭山

幽峰
乙酉
田中

擬山園帖第一

王 鐸

玉書過箕山齋同
魯齋彦甫鳴諧和
歌吹簫調絃天氣不
嚴江解衣袈裟日
薄莫興趣勃然
書數綾幅頗不惡
何也有嫩姬粲集

玉書過箕山齋。同

魯齋彦甫鳴諧和

歌吹簫調絃。天氣不

嚴江解衣袈裟。日

薄莫興趣。勃然

書數綾幅。頗不惡、

何也有嫩姬粲集

ぎざんえんちよう
擬山園帖第一

おう
王 鐸 たく

王鐸（一五九二—一六五二）は河南孟津の人。字は寛斯、齋号を擬山園などと称した。天啓二年（一六二三）三十一歳で進士に合格。文辭に巧みであつたので、庶吉士・翰林院編集を授けられた。

書は晋唐の古法帖、とりわけ王羲之・献之父子を法とし、原帖を手掛かりとして表現の上に独自の工夫を重ね、情熱や意氣そのままに激しい筆を続本（紙面）に走らせた。「この書卷は」運筆が確かであり、氣迫充実した風格を示しているので王鐸学習にはこのうえない法書である。

岡崎綠水書

山色無遠近看山終日行峰巒隨處改行客不知名

山色無遠近看山終日行
峰巒隨處改行客不知名

江西澄翠書

葉根譚

得趣不在多盆池拳石間煙霞具足

得趣不在多盆池拳
石間煙霞具足

澄翠書

梅
川
桂
龍
書

別
離
已
昨
日

別離は已に昨日

梅
川
桂
龍
書

人 因
情 見
古

因よつてみる古人こじんの情じやう

福
原
曉
雲
書

觀
瀟
海
門
秋

観瀟海門の秋
かんどうかいもん

福
原
曉
雲
臨

王
鐸

玉書過箕山齋

玉書過箕山齋

大崎花梢書

江水千里家書十五行
行！望別後只道早還心

大原桂園臨

要人有心而此志不令
人依之望永

桂園

岩谷紅花書

門無車馬終年靜身
卧雲山萬事輕

紅花書

門田惠子臨

大神朝夕廣野
麻田吉門

大日如來
祥福滿

大日如來

吉貞

降

吉子臨

圖

千峰鳥路合燭雨已
月蟬聲送暮秋

市原處帥

門贈華州刺史兄弟
兄姪盡崇國恩

大平圭子

刊石豎表銘勅萬載
三代以來雖遠

田村和子

竊以法性凝寂魔歸
心而不通智地玄奧

大石千施

還于卿佐必與良方出
於阿曼夢堯之

岩河里華

良命使者無消息茂
陵烟樹生愁色金

伊吹悠道

已潛友於靈臺必
能傍通點畫之

横田紫秋

為兔氏之性久矣
為兔氏之性久矣

大野美賀

國儲為天下之本
師導乃元良之教

川口虎之介

高嶺雲露方得法
其花蓮出渌波

高橋美草

条幅当選作品 梅川桂龍 選評

★天位

市原處艸君 〓線質の変化の妙を楽しんで書いている。二

行目に墨量が少し欲しい。

大平圭子君 〓淡々と書いているが、筆は紙面に深く食い

込んでいる。

田村和子君 〓少し線の堅さはあるが味のある作。

大石千施君 〓大胆に臨して作為無く、好感の作。

岩河里華君 〓宣示表を臨して、古の趣あり。

★地位

伊吹悠道君 〓直線的な動きで新鮮味を感じる。

横田紫秋君 〓深い線が欲しいが、流れは良い。

大野美賀君 〓良く書き込んでいると思います。線もしつ

かりとしている。

★人位

川口虎之介君 〓なかなかこうは書けません。気ままな書

きぶりが魅力的。

高橋美草君 〓大らかな作品、筆も良く動いています。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

9月の審査は22日(日曜)午前9時30分に開始
します。審査会場は高知城ホールです。

問試 題験

10月20日締切

中学二年課題

武内美仁

書

整理

然路

10月20日締切

絶空
後前

小学六年課題

松崎緑花書

進出
行飛

10月20日締切

の天
里空

小学四年課題

弘田賀峰書

いとし
楽本

10月20日縮切

木

立

10月20日縮切

小学二年課題

水田紅子書

おに

10月20日締切



★師範・準師範 高段者の方へ。

本会の仲間を一人でも増やしてくださることを望みます。

子供さんにもぜひ入会を、おすすめ
いただきたく思います。

よろしくお願いします。

(福原曉雲)

★出品票について

○出品票の記入は楷書で地名、氏名（姓号）を正確に書いて下さい。

○段位の方は朱書き、級位の方は黒書きして下さい。

○段位は漢数字、級位はアラビア数字で書いて下さい。

○新規出品者は級位の欄へ「新」と書いて下さい。

○出品は各競書一点です。

○出品票には年度と月が入っています。必ず規定のものを使って下さい。

○出品票ははずれないよう、きちんとのりづけして下さい。

※一般部の随意出品票の臨書作には必ず出典名を記入して下さい。

学校名		まだ	が	気	ル	キ	
		幼	失	が	の	ツ	若
六年		い	わ	つ	群	ネ	い
		鳥	れ	く	れ	に	ア
級 段		だ	て	と	は	お	ネ
氏 名		っ	い	、	パ	そ	ハ
		た	た	一	ニ	わ	ヅ
		。	。	羽	ツ	れ	ル
			そ	の	ク	た	の
			の	仲	に	の	群
			一	間	な	だ	れ
			羽	の	る	。	が
			は	命	。	ツ	、

学 校 名								
四 年								
級 段								
氏 名								
	い	思	に	と	住			
	の	い	つ	う	ん	高	野	
	手	い	い	産	で	さ	ん	
	紙	ア	て	業	い	ん	は	
	を	ン	教	で	る			
	書	ケ	え	あ	人	地		
	き	ー	て	る	た	い		
	ま	ト	ほ	和	ち	き		
	し	の	し	紙	に			
	た	お	い	作				
	。	願	と	り	伝			

小学三年課題 野中恵花 書

学校名	に	を	や	が	は	
	な	し	ん	た		そ
	っ	た	が	っ	前	れ
三年	て	所	一	て	よ	か
	い	は	人	い	り	ら
級段	ま		で	ま	も	何
氏名	す	小	か	す	い	十
	。	さ	げ	。	っ	年
		な	お	ち	ば	。
		公	く	い	い	町
		園	り	ち	家	に

がっこう					
	こ	よ	し	っ	
	と	く	て	く	じ
ニ	が		も		ゆ
ねん		っ		ま	ん
だ	あ	た	あ	ま	じ
き	り	わ	い	に	よ
ゆう	ま	ら	て		
なまえ	す	な	に	話	思
	。	い		を	い

小学二年課題 藤田桂苑 書

がっこう				
	き	け	れ	
	ま	て	い	り
一	し		ぞ	っ
ねん	た	中	う	ち
きだ	。	を	こ	ゃ
きゆう			を	ん
なまえ		の		は
		ぞ	あ	、

がっこう				
ほねん	す	き	こ	な
だんきゆう なまえ	ず	れ	え	い
	む	い	で	て
	し	な		い
	が			ま
				す。

美術の秋

刻々と時は流れて、県展が近づく、書を志向する人達にとって、また厳しい修練の季節がやってくる。この波濤を乗り越えて、修羅場から経險を通し、次代を背負い後進を指導する人々が生れる。

県展という土俵に生き、パッションを燃やして必死に何かを学びとろう、という尊い書人の姿勢がそこにある。

幾度か厚い壁にぶつかって、その都度何物にも代え難き所産を得て、書の深奥に向って前進してゆく足がかり、手がかりとして、ヒントすべきだが、書人として、足許をそして確かな手腕

を鍛練するためには県展を問わず、真正の書を学び、整正の書展に先ず打って出ること、幾度か試練を我が身上にいただき耐えて、克つてこそ、他を説得し得る人となれるであろう。これが体験に基づいた龍跳の書徒への助言であり、また私の覚悟でもある。先人の学んだ姿勢を見習い古典にいどみ、日進月歩怠らず、目先の得喪にとらわれず、脚下を看つつ努力しようではありませんか。

— 子雀記 —

龍跳創刊40周年特別号より

雪清 冬島書	關河霜	雪清 澤村	關河霜	雪清 星華書	關河霜	雪清 雪嶺	關河霜	雪清 雪嶺	關河霜	雪清 雪嶺	關河霜
雪清 冬島書	關河霜	雪清 雪嶺	關河霜	雪清 雪嶺	關河霜	雪清 雪嶺	關河霜	雪清 雪嶺	關河霜	雪清 雪嶺	關河霜
雪清 冬島書	關河霜	雪清 雪嶺	關河霜	雪清 雪嶺	關河霜	雪清 雪嶺	關河霜	雪清 雪嶺	關河霜	雪清 雪嶺	關河霜
雪清 冬島書	關河霜	雪清 雪嶺	關河霜	雪清 雪嶺	關河霜	雪清 雪嶺	關河霜	雪清 雪嶺	關河霜	雪清 雪嶺	關河霜

(一・二段目) 福原曉雲 選評
 桂園君 太細線を入れ布置章法が利いて安定する。
 賀峰君 強靱な筆致で力量感溢れる。
 里華君 すっきりした作で品格有り。
 恵歩君 用筆、基本に基づいてすばらしい。
 喜泉君 正整にして氣力充実の作。
 美佐君 力強く良く書けているが、あと一步の感か。
 (二・三段目) 前田秀華 選評
 真理君 丸い線で力みなく温かい作。
 理奈君 体の動きよく勢いを感じます。
 幽雅君 堂々とした書き振り。
 惠泉君 線に深さと丸味を見る。
 心春君 素朴で明るい作品。
 (三・四段目) 野島桂山 選評
 紫秋君 堅実な書きぶりに好感がもてる。
 美邦君 氣負なく温和な作。
 美草君 力みなく伸びやかな作。
 由利子君 線質良く安定している。
 美香君 丁寧で素朴品格ある作。
 和美君 あまり飾らず素朴に仕上げていいる。
 (四段目) 武内美仁 選評
 沙織君 澄みきった線がよく伸びている。
 千賀君 軽妙な筆致で明るい。
 恋子君 新人ばなれした佳作。

秋深紅
葉如

刊石豎
表銘

還于卿
佐必無

未得耳
如友

子亦之
不及

上論也
但為

直力氣
尚壯

並茶竹
送君

關河霜
雪清

宣抒玄
汗以注

友於
靈臺

還于卿
佐必無

阿是夢
之言

並茶竹
送君

秘書監
檢校侍

安豐
金剛

惠止觀
妙門

惠止觀
妙門

於心
已而申

立德
踐行

(一・二段目) 廣末幽念 選評
綠堂君 全体のまともよく、落

ち着いて見ることができ、落
惠花君 すすきりと仕上つています。

澄翠君 運筆のリズムが軽快で安定
した作。

朱鳳君 しっかりと書きぶり強
く感じる。

孝北君 筆に伸びがあり、なめらか
な感じです。

和子君 隸書の筆遣いがしつかりし
ている。

(二・三段目) 岡崎緑水 選評
悠道君 力みなく落ち着いた臨。

廣峰君 余白が生きて明るい。

多嘉君 流れはあるが少し落ち着き
がほしい。

啓助君 丸い線で几帳面な臨。

翠園君 慎重に臨しているが少し墨
量がほしい。

(三・四段目) 西山極山 選評
美邦君 宣示表の特徴をとらえてい

る。

紫秋君 伸びやかで明るい作品。

隆光君 丁寧な書きぶり頑張つて。

知加君 温かな線であたたかさを感
じる。

紀美子君 流れの中に強さも感じる。
仲枝君 師のよい線あり。この作品
の場合落款に一考を。

(四段目) 岡林邦心 選評
志津君 「宣示表」の雰囲気が出て
いる。

千賀君 「灌頂記」が出ている。

虎之介君 規模大きくて良い。

野高球校 鎮島 結	野高球校 小六 森光 陽亮	海浴場水 二年 高橋 乙明	海浴場水 二年 高橋 乙明	競泳大会 朝子 二年 梅田 実	競泳大会 朝子 二年 梅田 実
野高球校 晴士	野高球校 六年 佐賀 聖	野高球校 五年 朝比 龍太郎	野高球校 五年 小川 龍太郎	野高球校 六年 高橋 乙明	野高球校 六年 伊藤 風信
小水屋車 四年 花村 さくら子	小水屋車 五年 宮田 大次	小水屋車 五年 小松 孝男	小水屋車 五年 高橋 乙明	小水屋車 五年 佐賀 聖	小水屋車 五年 大城 了
星北斗 五年 松田 孝	星北斗 五年 宮田 大次	小水屋車 五年 中川 ミチ	小水屋車 五年 高橋 乙明	小水屋車 五年 佐賀 聖	小水屋車 五年 田邊 瑞吉

(一段目) 中学部 大八木洋女 選評

風 君 強い線で堂々と書かれています。

茉奈君 丁寧に書かれています。

風葵君 大らかで良いと思います。

乙羽君 ゆつたりと書かれて良いと思います。

(一・二・三段目) 小学六年 中平美峰 選評

陽菜君 強い線と書けました。

綜 君 強い線で堂々と書けました。

風佳君 あたたかい作品になりました。

仁貴君 良くまとめています。

快晴君 うまく紙面に入れましたね。左側は長いかな。

来夢君 まじめに書けました。これからも頑張つてね。

聖愛君 力強い線で書けています。「球」の点を忘れて

ています。

晴士君 元気な作品です。「球」はもう少し工夫が欲

しいね。

(三・四段目) 小学五年 深瀬緑堂 選評

リサ君 まじめによく練習できています。

菜乃君 明るく良くまとめています。

百叶君 良くまとめているが、もう少し強さがあれば

良い。

希美君 力強くすなおに書けています。

改太君 強い線ですつかり書けています。

さくら子君 大変良い。この調子で沢山書いて下さい。

璃音君 ていねいに勉強されています。

陽南子君 元気がいいにがんばりました。

蒼菜君 線強く堂々としています。

こころ君 紙面いっぱい力強く書けました。

(四段目) 小学四年 奥堂皓月 選評

実咲君 筆使いもよく明るい作品です。

美緒音君 一画一画心をこめて書いています。

北 斗 星 斗 四年 吉明村	北 斗 星 斗 四年 田村 健雄	北 斗 星 斗 四年 金堂 莉奈	北 斗 星 斗 四年 高橋 寛菜
月 光 三年 押岡 竜	月 光 二年 野田 幸	月 光 二年 清水 二 王木 芳尚	月 光 三年 須崎 三 西村 永市
ぼ ん な つ 二年 島村 昌海	ぼ ん な つ 二年 上村 二 上村 二 上村 二 上村 二	ぼ ん な つ 二年 上村 二 上村 二 上村 二 上村 二	ぼ ん な つ 二年 上村 二 上村 二 上村 二 上村 二

(一・二段目) 小学四年

蒼來君Ⅱていねいにまとめています。

莉奈君Ⅱすっきりと明るく書けています。

健悟君Ⅱすなおに書けています。がんばって下さい。

穂花君Ⅱ伸び伸びとして明るい作品。

明利君Ⅱ力強い線です。

湊 君Ⅱ伸び伸びとして整っています。

(二・三段目) 小学三年 佐竹江月 選評

太希君Ⅱ強い線で書けています。

芳尚君Ⅱ堂々とよく書けています。

未來君Ⅱ味のある作品です。

朋希君Ⅱ墨もたつぷりついて、元気が良い。

心遙君Ⅱ良くまとまった作品です。

息吹君Ⅱ落ちついて書けました。

華乃君Ⅱのびのびと力まず書けています。 別役美佐 選評

(三段目) 小学二年

涼 君Ⅱていねいにかけています。

はるか君Ⅱどうとかけられています。

連太郎君Ⅱこのちようしでれんしゅうして下さい。

かほ君Ⅱしっかりかけています。

昇牙君Ⅱ力いっぱいかけています。

心花君Ⅱおちついてかけています。

ときお君Ⅱがんばってかけています。 (四段目) 小学二年・ようちん 天野喜泉 選評

望未君Ⅱおちついて、ていねいにかけています。

由葉君Ⅱかたよくのびのびとかけています。

ゆいと君Ⅱどうとしようずにかけています。

かずは君Ⅱのびのびとしようずにかけています。

多ノ郷 森光 陽菜
新莊 鍋島 綜

持久走は、校庭から出発して裏のトンボ池を回り、また校庭にもどるコース。なるべく止まらず、会話がでるベイスを保つこと。ペアを組むのはそのためだという。
……多ノ郷六時四十分……森光陽菜

持久走は、校庭から出発して裏のトンボ池を回り、また校庭にもどるコース。なるべく止まらず、会話がでるベイスを保つこと。ペアを組むのはそのためだという。
……新莊六時……鍋島 綜

持久走は、校庭から出発して裏のトンボ池を回り、また校庭にもどるコース。なるべく止まらず、会話がでるベイスを保つこと。ペアを組むのはそのためだという。
……浦内六時……矢野蒼真

持久走は、校庭から出発して裏のトンボ池を回り、また校庭にもどるコース。なるべく止まらず、会話がでるベイスを保つこと。ペアを組むのはそのためだという。
……越知六時五十分……大原 瑠心

浦ノ内 矢野 蒼真
越知 大原 瑠心

大谷北 山崎 流依
一ツ橋 田辺 蒼月

持久走は、校庭から出発して裏のトンボ池を回り、また校庭にもどるコース。なるべく止まらず、会話がでるベイスを保つこと。ペアを組むのはそのためだという。
……大谷北六時……山崎流依

ポツブとは、本の近くにそえられている広告のこと。本の内容のしうかいや、書店の人によるおすすめ言葉が書かれた、手書きのカードが置かれていることがある。
……一ツ橋五時七十分……田辺蒼月

ポツブとは、本の近くにそえられている広告のこと。本の内容のしうかいや、書店の人によるおすすめ言葉が書かれた、手書きのカードが置かれていることがある。
……須崎五時七十分……松田 菜乃

ポツブとは、本の近くにそえられている広告のこと。本の内容のしうかいや、書店の人によるおすすめ言葉が書かれた、手書きのカードが置かれていることがある。
……久礼五時六十分……森岡 虹

須崎 松田 菜乃
久礼 森岡 虹

上分 田邊 璃音
岡豊 中司こころ

ポツブとは、本の近くにそえられている広告のこと。本の内容のしうかいや、書店の人によるおすすめ言葉が書かれた、手書きのカードが置かれていることがある。
……正分五時……田邊 璃音

ポツブとは、本の近くにそえられている広告のこと。本の内容のしうかいや、書店の人によるおすすめ言葉が書かれた、手書きのカードが置かれていることがある。
……岡豊五時二十分……中司こころ

石田さんの家で買った体温計の取りあつかい説明書には、使用方法や使用上の注意など、知っておく必要のあることから書かれています。
……長岡小四・七時……森田 実咲

石田さんの家で買った体温計の取りあつかい説明書には、使用方法や使用上の注意など、知っておく必要のあることから書かれています。
……佐古小四・五時……田村 健悟

長岡 森田 実咲
佐古 田村 健悟

吾桑 高橋 蒼來
大谷北 大木 陽智

石田さんの家で買った体温計の取りあつかい説明書には、使用方法や使用上の注意など、知っておく必要のあることから書かれています。
……吾桑四時四十分……高橋蒼來

石田さんの家で買った体温計の取りあつかい説明書には、使用方法や使用上の注意など、知っておく必要のあることから書かれています。
……大谷北四時初め……大木陽智

石田さんの家で買った体温計の取りあつかい説明書には、使用方法や使用上の注意など、知っておく必要のあることから書かれています。
……池川小四・一時……北村日和

空が暗くなったと思うと、雨がぱつぱつ落ちてきた。かけたしたばくの耳に聞こえてきたのは、あの音だ。ナリン。ナリン。鳴り始めたのだ。
……浦内三時五十分……正木 芳尚

池川 北村 日和
浦ノ内 正木 芳尚

須崎 田村 紗雪
浦ノ内 池田 理人

空が暗くな。たと思
と。雨がぼつぼつ落ちて
きた。かけたしたはくの
耳に聞こえてきたのは
あの音だ。チリン。チリ
ン。鳴り始めたのだ。
須崎 田村 紗雪
浦ノ内 池田 理人

空が暗くな。たと思
と。雨がぼつぼつ落ちて
きた。かけたしたはくの
耳に聞こえてきたのは
あの音だ。チリン。チリ
ン。鳴り始めたのだ。
浦ノ内 池田 理人

空が暗くな。たと思
と。雨がぼつぼつ落ちて
きた。かけたしたはくの
耳に聞こえてきたのは
あの音だ。チリン。チリ
ン。鳴り始めたのだ。
浦ノ内 池田 理人

空が暗くな。たと思
と。雨がぼつぼつ落ちて
きた。かけたしたはくの
耳に聞こえてきたのは
あの音だ。チリン。チリ
ン。鳴り始めたのだ。
浦ノ内 池田 理人

多ノ内 森光梨衣奈
久礼 日林 ゆあ

すさき 金堂 涼
上分 吉村はるか

かんさつして 書
く。みの回りのも
の。かんさつして
「かんさつカード」
を書きましよう。
すさき 金堂 涼
上分 吉村はるか

かんさつして 書
く。みの回りのも
の。かんさつして
「かんさつカード」
を書きましよう。
上分 吉村はるか

かんさつして 書
く。みの回りのも
の。かんさつして
「かんさつカード」
を書きましよう。
上分 吉村はるか

かんさつして 書
く。みの回りのも
の。かんさつして
「かんさつカード」
を書きましよう。
上分 吉村はるか

うらノ内 山岡みずき
うらノ内 徳永はや斗

池川 伊藤 日向
あそう まつさかのぞみ

かんさつして 書
く。みの回りのも
の。かんさつして
「かんさつカード」
を書きましよう。
池川 伊藤 日向
あそう まつさかのぞみ

あさがおにみず
やりをしました。
はながさくのがた
のしみです。
あそう まつさかのぞみ

あさがおにみず
やりをしました。
はながさくのがた
のしみです。
あそう まつさかのぞみ

あさがおにみず
やりをしました。
はながさくのがた
のしみです。
あそう まつさかのぞみ

あそう うめばらゆま
うらノ内 吉おかまひろ

うらノ内 中平 ゆう大
くれ もりおかべに

あさがおにみず
やりをしました。
はながさくのがた
のしみです。
うらノ内 中平 ゆう大
くれ もりおかべに

あさがおにみず
やりをしました。
はながさくのがた
のしみです。
うらノ内 中平 ゆう大
くれ もりおかべに

あさがおにみず
やりをしました。
はながさくのがた
のしみです。
うらノ内 中平 ゆう大
くれ もりおかべに

あさがおにみず
やりをしました。
はながさくのがた
のしみです。
うらノ内 中平 ゆう大
くれ もりおかべに

かみぶん なかしまゆいと
すさき こんどう こな

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切って下さい。
★臨書は出典名を記入のこと。

随意

審査 廣末 幽念

★師範

★準師範

深瀬緑堂 野中恵花 江西澄翠 西山極山 奥堂皓月 中平美峰 河村容舟 弘田實峰 市原處艸 大原桂園 岡林邦心 水田紅子 岩河里華 大八木洋女 萩羽羽花

横山桂華 山本恵歩 桑原智子 鎌倉春葉 高橋桜芳 大野美賀 高橋朱鳥 小野山美喜 大崎美陽 別役美佐 平井桂草 山西雄山 岡田雄山 森光望春 井浦明子 松崎竹山 岩崎芳香 西村芳子 丸田宏子 伊吹悠道 小笠原廣峰 下元玉泉 坂本碧香 岡村紅花 岡村妙慧 浪上理奈

岡林翠 鈴木輝代 大井淳 西森啓助 高橋翠園 岡本美水 山崎隆志 濱田順子 西山極山 杉本美邦 横田紫秋 坪内倫子 林隆光 金子知加 大原紀美子 前田伸枝 西尾明美 市川美香 掛水勝恵 藤原勝子 山本泰子 中内泰子

審査 岡林 邦心 ★一級 川崎志津 尾立千賀 西村小百合 ★二級 川口虎之介 ○小笠原香代 ○藤田美知子 ★新規 六級編入 毛利恋子

第891回毛筆成績

○印は昇級

中学部

小学部

審査 大八木洋女

審査 中平 美峰

三年

★特待生

★九段

朝ヶ丘黄之瀬 風

多ノ郷 森光陽菜 新莊 鍋島 綜

二年

★特待生

★八段

朝ヶ丘 橋田茉莉奈

長岡 押岡風佳

一年

★七段

長岡 高芝仁貴 多ノ郷 森岡快晴 上分 朝比奈来夢 長岡 二宮嘉奈子

★七段

★三段

池川 藤原乙羽

別府 庄武聖愛

★一級

附属 三本晴士

毛筆五年

審査 深瀬 緑堂

★八段

多ノ郷 大城リサ

★七段

須崎 松田菜乃 上分 梅原百叶

★六段

上分 小松希美 長岡 宮脇改太 須崎 谷口桜心

★五段

長岡北村さくら子 多ノ郷 橋田天呀 岡豊 島村倅空

★四段

上分 田邊璃音 須崎 竹内陽南子 上分 田村拓海 柳本稀衣

(出品票)

のり代

6年
10月
条 幅

氏

名

臨書は出典名

★三段 吾桑 梅原蒼葉 岡豊 田所萌羽 ★二段 岡豊 中司こころ ★初段 別府 後藤 樹 毛筆四年 審査 奥堂 皓月 ★七段 長岡 森田実咲 ★六段 小高坂 川西康介 ★四段 吾桑 松坂美緒音 須崎 高橋蒼來 佐古 金堂莉李 須崎 田村健悟 津野聖佳 ★初段 吾桑 宮崎穂花 長岡 西内明利	長岡 小笠原 湊 ★一級 長岡 溝淵蒼功 ★四級 上分 中山結愛 毛筆三年 審査 佐竹 江月 ★五段 須南 西村太希 須崎 毛利香花 ★四段 浦ノ内 正木芳尚 須崎 田村紗雪 ★三段 上分 梅原未來 ★二段 多ノ郷 太田朋希 岡豊 島村心遙 長岡 押岡息吹 長岡 竹内伽菜心	★初段 多ノ郷 森光梨衣奈 ★一級 吾桑 長山優奈 ★二級 越知 ○藤崎華乃 ★六級 長岡 ○澤村郁菜 もうひつ二年 審査 別役 美佐 ★三段 須崎 金堂 涼 ★二段 上分 吉村はるか 多ノ郷 森光連太郎 ★初段 多ノ郷 橋田かほ しんじょう 中じまあやと 上分 はし田一か 吾桑 高橋依吹	★一級 岡豊 島村昇牙 朝倉 根口心花 岡豊 中司みのり ★三級 須崎○谷口きずな ★八級 馬路 ○小松時生 もうひつ一年 審査 天野 喜泉 ★初段 吾桑 松坂望未 ★五級 吾桑 ○梅原由菜 ★新規 九級編入 岡豊 おぎかお	もうひつ ようち・ほいく ★一級 上分 なかじまゆいと ★四級 須崎 ○こんどうこな ★五級 ふたば○後藤和葉 ★六級 池川 ○鶴井遥都
--	--	--	--	---

低学年の生徒名も 5 字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

– 39 –

★五級 久礼 ○西村波琉 上分 ○中山結愛 硬筆三年 こうひつ 審査 市原 處艸 ★五級 浦ノ内 正木芳尚 須崎 毛利香花 ★四段 須崎 田村紗雪 ★三段 浦ノ内 池田理人 浦ノ内 藤田彩葉 江ノ口下村亜弥衣 浦ノ内 山本瑞貴 上分 梅原未來 ★二段 多ノ郷 森光梨衣奈 長岡 竹内伽菜心 長岡 押岡息吹 多ノ郷 太田朋希 越知 藤崎華乃 岡豊 島村心遥 久礼 蔵下夏愛	★初段 久礼 日林ゆあ 久礼 松山愛凛 吾桑 長山優奈 ★一級 久礼 黒原小春 ★七級 長岡 ○澤村かな こうひつ二年 審査 小川 理香 ★三段 須崎 金堂 涼 ★二段 上分 吉村はるか 多ノ郷 森光連太郎 吾桑 高橋依吹 ★初段 浦ノ内 山岡みずき 浦ノ内 徳永隼斗 朝倉 根口心花 上分 はし田一か しんじょう 中じまあやと	久礼 黒原りか ★一級 池川 伊藤日向 岡豊 中司みのり 久礼 下谷ことは 長岡 安井 颯 久礼 政岡ゆみ 池川 片岡紗雪 池川 上村心晴 池川 北村心暖 奈路 植野 葵 ★二級 岡豊 ○島村昇牙 吾桑 鈴木 花 ★三級 上加 ○政岡そうし 上加 ○木村ひらと 須崎 谷口きずな ★六級 久礼 ○小林なほ 久礼 ○岩瀬わたる 久礼 ○近藤みのり ★七級 上加 ○大内ゆずの	★八級 馬路 ○木下かいと ★九級 久礼 ○加茂みやび 吾桑 ○宮崎陽花 ★十級 長岡 ○村上心優 吾桑 ○堅田彩乃 こうひつ一年 審査 石川 美水 ★二段 吾桑 松坂望未 吾桑 梅原由菜 ★初段 浦ノ内 吉岡まひろ ★一級 浦ノ内 宮田いと 附属 江頭 航 ★二級 浦ノ内 ○中平ゆう大	★六級 久礼 ○森岡べに ★八級 池川 ○黒川琴寧 ★九級 浦ノ内 ○てら内かのん 佐川 ○井上めい 高岡 ○隅田しゅう 久礼 ○奈路かなえ ★新規 十級編入 岡豊 おぎかお こうひつ ようち・はいく 審査 石川 美水 ★一級 上分 中じまゆいと ★三級 須崎 ○こんどうこな ふたば ○後藤和葉
---	--	---	--	--

のり代

6年
10月
毛筆

校名

保学年

氏名

段級

のり代

6年
10月
硬筆

校名

氏名

段級

のり代

6年
10月
硬筆

校名

氏名

段級

秋季昇段級試験合格者

九月一日審査

準師範・特待生になられた方は、顔写真とあいさつ文(簡潔に)を九月二十二日、審査日迄に本部に届けて下さい。
※合格者氏名はすべて順不同です。

準師範

小笠原廣峰
橋本祝子

第一部

★六段

田村星子

★五段

山本心春

★四段

西岡仁陽
中澤英子
横田紫秋

★三段

品原律子

第二部

★初段

橋本和世
松坂美枝
西村小百合
川下久美

中学部

二年

★特待生

弘田聖奈

一年

★八段

藤原乙羽

★三段

藤原杏実

小学部

毛筆六年

★特待生

鍋島 綜
森光陽菜

★九段

押岡風佳

★八段

森岡快晴
宮本里依羽
朝比奈来夢
高芝仁貴
二宮嘉奈子

★四段

庄武聖愛

★初段

三本晴士

毛筆五年

★九段

大城リサ

★八段

梅原百叶
松田菜乃

★七段

小松希美
宮脇改太
谷口桜心
鶴井香月

★六段

橋田天冴
島村倅空
北村さくら子

★五段

柳本稀衣
田邊璃音
竹内陽南子
田村拓海

★四段

田所萌羽
梅原蒼葉

★三段

中司こころ

★二段

後藤 樹

毛筆四年

★八段

森田実咲

★七段

川西康介

★六段

西村朝陽

★五段

小松太緒
松坂美緒音
高橋蒼來
津野聖佳
金堂莉李

★三段

田村健悟
吉門蒼馬

★二段

西内明利
小笠原湊
宮崎穂花

★初段

溝淵蒼功

★三級

中山結愛

毛筆三年

★六段

西村太希
毛利香花

★五段

正木芳尚
田村紗雪

★四段 梅原未來	★三段 太田朋希 島村心遥 猪野光騎 竹内伽菜心 押岡息吹	★二段 森光梨衣奈 宮脇治太	★初段 藤崎華乃 長山優菜	もうひつ二年	★四段 金堂 涼	★三段 吉村はるか 宮本はるま 森光れん太郎
★二段 はし田一か 中島あやと 橋田かほ 高橋依吹	★初段 島村昇河 中司みのり 根口心花	もうひつ一年	★二段 松坂望未	★三級 梅原由茉	★初段 ようちほいく なかじまゆいと	
硬筆六年 こうひつ ★特待生 川渕結衣 矢野蒼真	★九段 濱田 奏	★八段 朝比奈来夢 高芝仁貴 宮本里依羽 牛窓環菜	★七段 駒崎愛恵 二宮嘉奈子 大原瑠心	★六段 森田大翔	★五段 政岡明里	
★四段 川西蒼空 川西桜空 浅野由梨 持田和花 山崎流依 庄武聖愛 大木柚杏 倉持陽向	★初段 三本晴士	硬筆五年 こうひつ ★九段 大城リサ 松浦結菜 梅原百叶	★八段 松田菜乃 江頭咲良 田辺蒼月 小松希美	★七段 谷口桜心 美島希以花 松山 翔		
北村さくら子 竹内ひなこ 森岡 虹 窪田茉優 宮脇改太	★六段 森田 葵 片岡杏璃 田邊璃音	★五段 梅原蒼菜 田村拓海 山本彩喜 柳本稀衣 下村亜李衣 政岡桃加	★四段 須賀勇介 久保田健介 岩田愛菜	★三段 田所萌羽 中司こころ	★二段 後藤 樹	
駒崎信慈	★二級 高橋芽生奈	★四級 堅田有咲	硬筆四年 こうひつ ★八段 森田実咲	★七段 西村朝陽 谷脇愛来 川西康介	★五段 清藤 蘭 こも田コモモ 松坂美緒音 高橋蒼来 米澤陽翔 津野聖佳 金堂莉李	
★四段 黒原小夏 中平澤里 西森優奈	★三段 笹岡玲斗 宮崎ほの花 橋田 陸 吉門蒼馬	★二段 小笠原湊 大木陽智 西内明利 笹岡蒼馬	★初段 北村日和 片岡亜李紗	★四級 中山結愛		

こうひつ 硬筆三年 ★六段 毛利香花 正木芳尚 ★五段 田村紗雪 ★四段 森田羽奏 山本みずき 池田理人 ふじ田いろ葉 下村亜弥衣 ★三段 藤崎華乃 森光梨衣奈 太田朋希 坂本大和 押岡息吹 竹内かなこ 島村心遥 くら下かなる 宮脇治太			
こうひつ二年 ★二段 長山ゆうな 吉原あや人 片山ひまり 猪野こうき まつ山まりん 日林ゆあ ★初段 黒原小春 白石一莉 白石一華 ★四段 金堂 涼 ★三段 宮本はるま 森光れん太郎 はし田かほ 吉村はるか 高はしいぶき ★二段 はし田いちか 中じまあやと くろ原りか			
こうひつ一年 ★初段 山岡みずき 根口心花 岡林ゆい花 徳永はや斗 ★二級 まさおかゆみ 下だにことは 中司みのり 安井そう 上村しんば 北村心暖 伊藤日向 片岡紗雪 ★一級 鈴木 花 ★三段 うめばらゆま まつさかのぞみ ★二段 さかもとみさき よしおかまひろ			
こうひつ ようち・ほいく ★七級 いのうえめい ★初段 えがしらこう 中ひらゆう大 みやたいと ★初段 なかじまゆいと			

宝用品
四道用
房書号
文庫久
中国産
宝房用品
四道用
房書号
文庫久

有限
会社

宝房用品
四道用
房書号
文庫久

〒780-0818 高知市宝永町3-3
TEL (088) 882-1454
FAX (088) 884-7413

秋季昇段試験担当

【集約係】

西山極山
別役美佐
大野美賀
山西春草

◎第二部

○前田秀華
西山極山
大八木洋女
岡林邦心

【展示係】

野島桂山
浜崎洋堂

◎学童毛筆

中学・小学五年
○岩河里華
深瀬緑堂

【集計係】

堅田清園
盛光望春
大原桂園
水田紅子

◎学童毛筆

小学四年・保育
○中平美峰
河村容舟

【会計係】

隅田亘心

◎学童硬筆

六年・五年
○江西澄翠
市原處艸

【審査員】

○印は責任者

◎第一部

○福原暁雲
梅川桂龍
岡崎緑水
廣末幽念
隅田亘心
武内美仁

◎学童硬筆

四年・三年
○森本寿山
小川理香

◎学童硬筆

二年・一年
保育・幼稚
○野中恵花
石川美水



【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入用の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

★師 範 三千円

★準師範以下一般 二千円

★学 生 一千円

(注意 申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。)

① 昇段の年月日

② 学生は学校名と学年

③ 一般は市町村名

(申込先) ご希望の先生に要項を明記した文書で

直接お申し込み下さい。

〒七八一七四二二

安芸郡東洋町河内三〇四

龍跳書道会 福原暁雲

〒七八一一三〇一

高岡郡越知町越知甲二二一七一六

龍跳書道会 梅川桂龍

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781—1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田亘心

〒781—1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

電話(〇八八九) 三五—〇九七一

電話(〇八八九) 三五—〇九七一

・月例作品の送り先

〒783—0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話(〇八八) 八六五—八八五七

・「龍跳誌」の内容について

〒781—7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話(〇八八七) 二九—二六五〇

・編集についての連絡先

〒785—0010 須崎市鍛冶町六—八

江西澄翠

電話(〇八八九) 四二—三〇六七

・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785—0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話(〇八八九) 四七—〇七二一

あとがき

このあとがきが会員の皆様に届く時は、もう秋の昇段試験の可否が決まり、一喜一憂している事でしょう。

昇段された方おめでとうございます。残念ながら昇段を逃した方、教室仲間と切磋琢磨しながら勉強している人、マイペースで個人勉強している人、取り組む姿勢は違っても、次回の昇段試験にきつとプラスになるので頑張つて再度挑戦を続けてほしい。応援しています。

さて、山田教室では今年の三月～五月(約三ヶ月)まで香美市公民館の玄関ロビーにて、楷書・行草書・隸書・臨書の条幅作品と同時に龍跳誌に八年間連載した一コマ漫画「りゅうちゃん」の全原画を展示させて頂き、思った以上の反響がありました。

少しでも会員増員に繋がる様二回目、三回目の展示を目指し、楽しみながら皆様と共に書に励んでいきたいと思っております。

月例競書課題

部 別	締切日	
	十月二十日 締切	十一月二十日 締切
一般条幅	任意	任意
半紙規定	因見古人情	張翰江東去
半紙随意	任意	任意
中学三年	試験問題	全山紅葉
二年	理路整然	
一年	空前絶後	生活様式
小学六年	出版進行	世界平和
五年	天空の里	月光の曲
四年	楽しい本	文化の日
三年	木立	山里
二年	おに	はやし
一年	くさ	ふえ
保 育		

月例作品送り先

〒783-0081 南州市片山四九〇

西山極山宛

電話(088) 86518857

会 費 の 送 金 に つ い て

会 費 : 半年分 3,000円 / 1 年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料 (R6.10~)
(幸便搬送の方は〒料不要)

①	1 冊	180円
②	2 冊~7 冊	210円
③	8 冊~20冊	430円

21冊以上は次の計算による。

21冊 ①+ ①= 610円×月数
22冊~27冊 ①+ ②= 640円×月数
28冊~40冊 ③× 2 = 860円×月数
50冊の場合 ③× 3 = 1,290円×月数

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号 (○冊) より○月号まで○ヶ月分
誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

編集室 福原 暁雲

野 島 桂 山

江 西 澄 翠

中 平 美 峰

発行人 福原 暁雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

発行所 龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

印刷所 (有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八九) 四二二〇二四四